

発言No.

5

受付No.

6

令和7年 6 月 11 日

10 時 21 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名 牛尾昭

答弁を求めるもの

(○をつける)

(市長) 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、市民に伴走する取組について

(1) 西条柿生産農家への支援策について

今回の地域井戸端会では、

- ①特に、東平原の生産農家から、年度初めに補助金制度の相談に伺ったが、すでに上限に達したとの対応だったことについての原因を問う。
- ②多くの生産農家が望んでいる安定感のある三脚、脚立の購入が補助金の対象外となっているが、どうにかならないかとの問いがあったことへの対策について問う。

(2) 鳥獣害対策について

- ①ハクビシンやイノシシ対策の支援強化策について問う。
- ②シカが、電柵を飛び越えて作物を荒らし困っていることへの対策について問う。

(3) 子育て中のお母さん方の要望について

- ①子育て世代包括支援センター「すくすく」の施設内で、もう少し自由に飲食が出来ないかという指摘に対する対応について問う。
- ②すくすくでの地域井戸端会には、多くのお母さん方が参加されていて、短時間勤務する職場がないとの相談があった。例えば、市役所で子育て枠を設けて、パートタイム勤務や在宅勤務などで、働くお母さん方の支援ができないか問う。
- ③もう一人こどもが欲しいのに、無痛分娩が出来ないことへの対策はないのかを問う。

(4) まちづくり総合交付金制度について

今福地区の問題であるが、高齢者の方々が熱心にサツマイモを栽培されているが、茎を切る機械がなく作業がはかどらず、機械購入を考えた場合、課題解決特別事業費を少しオーバーし、お困りのようである。これこそ、高齢者の健康増進や生きがいに必要な施策であると考え、柔軟な対応が出来ないか問う。

(5) 小規模農家からの要望に対する担い手確保・経営強化支援事業について

①小規模農家対策として、機械購入支援策が設けられた。担当職員にお願いしてチラシを作ってもらい、まちづくりセンターや個別配布、地域井戸端会で告知した。反応は、評価する意見、少額すぎるとの意見など様々であった。現状の申込状況を問う。

2、地域資源を活用した地域経営について

(1) 水産加工団地や瀬戸ヶ島埋立地の活用について

瀬戸ヶ島埋立地は、長らく野ざらしのまま、水産加工団地には、空き地が点在している。これらは、水産業振興・水産加工業振興のための地域資源であるが、十分に活かされていない。先ごろ、団地には(株)三陽の進出が決まり、さらには操業の前倒しや投資額も増額の予定である。一方で、瀬戸ヶ島では、サーモンの陸上養殖の調査のため、プロキシマー(株)と市が協定を結ばれたことについて、以下7点伺う。

- ①新設の漁港活性化担当係の使命を問う。
- ②(株)三陽進出後の見通しについて伺う。
- ③地元企業との関係について伺う。
- ④(株)三陽への市の支援策について問う。
- ⑤プロキシマー(株)進出に当たっての課題について伺う。
- ⑥企業の意向について伺う。
- ⑦プロキシマー(株)への市の支援策を問う。